

「川場学園」開校準備室だより

令和6年7月12日(金)発行 第14号(発行:川場村教育委員会 開校準備室)

長野県信濃町立信濃小中学校への視察研修を実施



令和6年6月28日(金)に、長野県信濃町立信濃小中学校への視察研修を実施しました。信濃小中学校は、平成28年4月に長野県で最初に開校した義務教育学校です。その先進的な取組は、川場学園が目指す方向性を具体的に示唆してくれるものでした。

施設見学では、学習の充実を図るためのラーニングセンターやティーチャーズステーション、また教育ニーズに応じた多様な居場所の確保のための施設や地域交流を推進するための交流ホールなどを見学しました。施設見学中に各教室での授業も参観することができ、信濃小中学校が目指している「問い・聴く・語る」の授業の具体的実践を参観することができました。この「問い・聴く・語る」は、川場学園が目指している非認知能力の育成に向けて大きなヒントをいただきました。

また情報交換では、校時表の組み方や授業時数の確保の工夫、PTA組織や地域との連携・協働の実際等について研修することができ、川場学園の開校に向けて今後の具体的な取組方向を示唆していただきました。

川場の宝である子ども達が自ら輝けるように、研修視察で学んだ内容を来年度に開校される川場学園の教育活動に生かしていきたいと思えます。



第2回開校準備委員会の報告

令和6年度第2回開校準備委員会が、6月25日(火)に開催されました。今回の開校準備委員会では、閉校記念誌や閉校式・開校式に関すること、川場学園「説明会」について協議しました。また、川場小中学校の先生方で組織している教育計画立案のための12部会の中の「教科カリキュラム部会」と「非認知能力育成部会」から検討事項や決定事項等の報告がありました。

川場学園開校まであと約9ヵ月となりましたが、川場学園で学ぶ子ども達が充実した学校生活を送れるよう、各組織で教育内容の計画等を協議し準備が着実に進んでいます。

○主な検討事項

(1) 閉校記念誌について

- ・題名については、いくつか候補を挙げ次回以降検討する。
- ・レイアウトは、左のページに挨拶文や歴代校長、右のページに校章や校歌、沿革を載せる。

(2) 閉校式・開校式について

- ・閉校式の大まかな次第は、「各代表式辞、校歌斉唱、校旗返還」等とするが、学校の実情により変更される場合がある。
- ・開校式の大まかな次第は、「国家斉唱、開校宣言、校旗授与、式辞、各代表挨拶、校歌披露、感謝状授与」等とするが、今後の状況により変更される場合がある。

(3) 川場学園「説明会」について

- ・令和6年8月2日(金)と令和6年8月24日(土)の午後6時~午後7時半に、kawabaBASE 交流ホールにおいて説明会を開催する。
- ・主に「川場学園基本構想、外形的事項、教育内容等」について説明し、質疑応答の時間を設ける。(説明は2回とも同じ内容)

***多くの方のご来場をお待ちしています。**

(4) 教科カリキュラム部会と非認知能力育成部会からの報告

- ・教科カリキュラム部会からは、3ブロック制の学年組織や各教科の指導、また校時表等について説明があり、前期ブロックは学級担任制を中心とすること、中・後期ブロックは各教科専門教員による教科担任制や小中の教員配置等について確認された。
- ・非認知能力育成部会からは、非認知能力の特徴や必要性、また育成のための具体的取組内容について説明があり、川場学園の特色として9年間で非認知能力を高め、時代の変化に主体的に対応できる人材の育成を図っていくこと、そのために学校と地域の連携・協働がきわめて重要性であることが確認された。

開校に向けての準備の進捗状況等につきまして、ご不明な点等ございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

川場村教育委員会 開校準備室(室長:井口昌之 0278-52-3458)